

■**蜷川虎三** 経済学者，政治家。<敗戦>で京大教授から京都府知事に。"中央ざらい"通し，7期連続28年革新府政。

にながわとらぞう

八幡製鉄始・1897＝ 東京深川で，材木問屋蜷川親治の三男に生まれる。母はせん。

日比谷公園・1903＝ 6歳：明治尋常高等小学校に入学，

日露戦争終・1905＝ 8歳：

満鉄発足・・・1906＝ **9歳**：

韓国併合・・・1910＝13歳：卒業し，東京府立第三中学校に入学。

明治天皇没・1912＝15歳：

第一次大戦始1914＝17歳：卒業し，農商務省水産講習所本科養殖科に入り，藤原咲平・寺田寅彦の薫陶を受け，

21ヶ条要求・1915＝**18歳**：

ロシア革命・1917＝19歳：卒業後，助手を勤めるうち，

大暴落・・・1920＝22歳： 河上肇をしたって，
京都帝国大学経済学部選科に入学，

原敬首相暗殺1921＝23歳：本科に進み，
統計学を専攻し，

水平社結成・1922＝25歳：律子と結婚。

関東大震災・1923＝26歳：長女が誕生。_卒業，大学院に進む。

護憲三派圧勝1924＝**27歳**：

円本時代始・1926＝28歳：講師となり，

金融恐慌・・・1927＝30歳： 京大助教授に就任。

共産党事件・1928＝31歳：ドイツに留学，

海軍軍縮条約1930＝33歳：アメリカ経由で帰国。

満州事変・・・1931＝34歳：

五一五事件・1932＝35歳：立命館大学講師兼務。妻律子が日本最初の女性タクシー運転手(2年間)となる。

国際連盟脱退1933＝**36歳**：

芥川直木賞始1935＝38歳：関西大学講師兼務。_世界的名著「統計利用における基本問題」で経済学博士，

日中戦争始・1937＝40歳：

第二次大戦始1939＝42歳：_京都大学経済学部教授。

日米開戦・・・1941＝44歳：

・・・1942＝**45歳**：

創価学会検挙1943＝46歳：関西大学辞任。

年金+総武装1944＝47歳：_{京大新聞}に「決戦の春」の一文を寄せる。同志社大学講師。

敗戦・・・1945＝48歳：経済学部長となるが，長女が結婚。敗戦後，

新憲法公布・1946＝49歳：*＜戦争に対する人間的責任＞をとって，同僚教授とともに集団退職。立命館・同志社大学も辞任。

新憲法施行・1947＝50歳：妻が死去。

極東裁判決・1948＝51歳：*中小企業庁初代長官となり，中小企業の実態調査などに成果をあげるが，

三大事件・・・1949＝52歳：多津と再婚。

朝鮮戦争始・1950＝53歳：_いわゆるドッジ=ラインによる"3月危機"をめぐって吉田茂首相と衝突し懲戒免職。{文芸春秋}に暴露記事を掲載後，民主戦線統一会議の推薦(社会党籍)により，京都府知事に当選。

独立回復・・・1951＝**54歳**：

_以後，長期にわたって当選し続け，京都に多い中小企業に対するきめの細かい指導と助成，高校小学区制，稲作減反政策に反対など，<憲法を地方自治に生かし，府民の暮らしを守る">をスローガンに，独自の府政に業績をあげる。庶民性と身辺の清潔さ，毒舌を交じえた能弁で知られ，また大蔵省・自治省へ陳情に行かないという<中央ざらい>も有名だった。

自衛隊発足・1954＝57歳：京都府知事に再選。

イヌストラ=マ・1958＝61歳：京都府知事に三選。

安保闘争・・・1960＝**63歳**：

全国総合計画1962＝65歳：京都府知事に四選。

大学紛争始・1965＝68歳：「憲法を生かす府民のつどい」開催し，憲法ポケット版を配布，以後，毎年記念行事。

いざなぎ景気1966＝69歳：京都府知事に五選。

美濃部都知事1967＝70歳：府主催の府民土曜講座を始める。

全共闘に=ク・1969＝**72歳**：

大阪万博・・・1970＝73歳：戦前の一文をもって，自民党が戦争責任を追及するも，全国初の知事六選。

石油ショック1973＝76歳：社会党京都府本部が初めて蜷川府政を批判し，

角栄金脈辞任1974＝77歳：薄氷の七選。

JALハイジャック・1977＝80歳：妻多津が死去。

成田衝突・・・1978＝**81歳**：*7期連続28年間つとめた京都府知事を引退し，

・・・1981＝84歳：_没した。

「この人どんな人」，インターネットWikipedia，